

台湾遠征・道選抜に選出

「レギュラー目指す」

洞爺湖リトルシニアの中野



中学硬式野球チーム・洞爺湖リトルシニア（若松敬治監督）の中野翼（桜蘭中2年）が、2017年台湾遠征・北海道選抜チームに選出された。新チーム始動から投打で活躍し、初の道内4強に貢献した頼れる主将。「行くからにはレギュラーを取りたい」と海外での白星を目指す。

道選抜には20人が選ばれ、5回の合同練習に参加。12月～1月に台湾に遠征し、両国から集まった選抜20チームが10試合を行う。中野は今季前半は主にシヨートを守り、9月の新チーム移行から新人戦、麻生自動車学校杯などでピッチャーとして出場。同杯準々決勝の日高戦ではノーヒットノーランを達成するなど初のベスト4入りの原動力となった。

170センチ58キロの右投げ右

打ち。伸びのあるストレートと、よく制球されたスライダー、チェンジアップを操る。「イン、アウトの出し入れに練習の成果を出せた」と今季の心意気を語る。試合後は両親が撮影した動画を見返し、丹念にフォームチェックと修正を繰り返した。

憧れの選手の一人に来季メジャー移籍を表明した大谷翔平選手を挙げるとあつて、投打で活躍するのが目標だ。日課はシャドーピッチングだけでなく、朝晩で200回の素振り。チームでは1番打者として、50メートル走6秒台中盤の俊足を生かす場面もあった。若松監督は「球を捕ってからの速さは歴代でもナンバーワンで、シヨートとしても素晴らしい」と野手としての能力も評価する。

選抜の合同練習で「動きが違つ。甘い球を一球でも投げると打たれる」と高レベルの野球に触れて気を引

道選抜での活躍を誓つ中野

き締める。「知らないチームメイトとも協力して試合に勝ちたい」と活躍を誓った。
（吉本大樹）